

Hi-SEED Cloud の処方チェックの利用方法と機能

1. 利用方法

➡ 処方チェックを行う

処方した医薬品に対し、チェックが行えます。

The screenshot shows the '処方' (Prescription) entry screen in Hi-SEED Cloud. On the left, there's a sidebar with patient information and a diagram of a heart. The main area displays a list of prescribed medications with their dosages and frequencies. At the bottom of this list, the '処方チェック' button is highlighted with a red box.

The screenshot shows the '処方チェック' (Prescription Check) results screen. The '処方チェック' tab is selected, and the results are displayed in a structured format. The 'まとめ' (Summary) section shows the check date and time. The '医薬品重複' (Drug Duplication) section lists the drugs and the result, indicating a duplication of the same drug. The 'アレルギー' (Allergy) section shows a warning for a specific drug, indicating a potential allergic reaction.

カルテ一覧	問診	薬・既往等	画像	バイタル	処方チェック
患者情報	保険情報	検査	病名	患者メモ	文書
チェック日時 2019/11/13 15:11:07					
まとめ 医薬品重複 アレルギー					
医薬品重複 同一医薬品					
薬剤(A) マイスリー錠5mg					
重複結果 同一医薬品 薬剤(B) マイスリー錠5mg					
相互作用 コメント AとBは同一医薬品→重複投与					
アレルギー 慎重投与					
薬剤 イナビル吸入粉末剤20mg					
レベル 慎重投与					
注意 コメント 乳製品に対して過敏症の既往歴のある患者→慎重投与					
作用機序 コメント ※本剤は、夾雑物として乳蛋白を含む乳糖水和物を使用しており、アナフィラキシーがあらわれたとの報告がある。					

1. 処方入力後「処方チェック」ボタンを押します。

チェック結果は「処方チェック」タブに表示されます。

ワンポイント

処方チェックで確認できる項目は、次のとおりです。詳細は[こちら](#)を参照してください。

- ・相互作用（併用禁忌/理化学変化/生活情報）
- ・医薬品重複
- ・アレルギー（食物/薬品）
- ・投与年齢（小児/老人）
- ・病態-医薬品投与 ★
- ・妊産婦／授乳婦投与 ★
- ・投与量 ★
- ・薬品アレルギー ★
- ・投与日数制限 ★

※★は有償オプション機能となります。

処方チェック

①処方チェックの並び順について

チェック結果について、まとめタブとそれぞれのタブが以下の順番で表示されます。

- ・相互作用
- ・相互作用（理化学変化）
- ・病態-医薬品投与 ★
- ・医薬品重複
- ・薬品アレルギー ★
- ・飲食物/薬品添加物アレルギー
- ・妊産婦/授乳婦投与 ★
- ・投与量 ★
- ・投与日数制限 ★
- ・相互作用（生活情報）
- ・投与年齢（小児・高齢者など）

②相互作用

①チェック内容

医療用医薬品同士で相互作用チェックを行います。添付文書等の記載をもとに「併用禁忌」「原則併用禁忌」のチェックを行います。(併用注意は表示されません)

②チェック結果

まとめ		相互作用	
		併用禁忌	
薬剤(A)	ハルシオン0.125mg錠		
レベル	併用禁忌	薬剤(B)	イトリゾールカプセル50.50mg
相互作用コメント	Aの血中濃度が上昇し、作用の増強及び作用時間の延長が起こるおそれ→併用禁忌		
作用機序コメント	【Bはアゾール系抗真菌薬】AとBの肝薬物代謝酵素(CYP3A4)が同じであるため、Aの代謝が阻害される		
薬剤(A)	イトリゾールカプセル50.50mg		
レベル	併用禁忌	薬剤(B)	ハルシオン0.125mg錠
相互作用コメント	Bの血中濃度上昇、作用の増強、作用時間の延長があらわれることがある→併用禁忌		
作用機序コメント	Aの肝薬物代謝酵素(CYP3A4)に対する阻害作用によりBの代謝が阻害される		

④相互作用（理化学変化）

④チェック内容

医療用医薬品同士の相互作用(理化学変化)チェックを行います。添付文書等の「使用上の注意」に関する記載をもとに「配合禁忌」「原則配合禁忌」のチェックを行います。(配合注意は表示されません)

④チェック結果

まとめ	相互作用（理化学変化）	アレルギー
配合禁忌		
薬剤(A)	調剤用バンピタン末	
レベル	配合禁忌	薬剤(B) バンクレアチン
相互作用コメント	Aはアルカリ剤、吸湿性薬剤と配合しないこと→配合不可	
作用機序コメント	作用機序未記載	

④相互作用（生活情報）

④チェック内容

医療用医薬品の生活上注意について情報を表示します。添付文書等の「使用上の注意」に関する記載をもとに「併用禁忌」「原則併用禁忌」の結果を表示します。(併用注意は表示されません)

④チェック結果

まとめ	アレルギー	相互作用（生活情報）
併用禁忌		
薬剤(A)	シクロスポリンカプセル10mg「サンド」	
レベル	併用禁忌	生活情報 生ワクチンの接種
相互作用コメント	免疫抑制下で生ワクチンを接種すると発症するおそれ→接種禁忌	
作用機序コメント	免疫抑制下で生ワクチンを接種すると増殖し、病原性をあらわす可能性がある	

➡医薬品重複

➡チェック内容

医療用医薬品の同一成分や系統が重複して処方された場合に、重複チェックを行います。同一成分(塩・水和物違い等同一成分を含む)、プロドラッグ(同一代謝活性体成分)、類似成分(ビタミン類、鏡像異性体など)などの系統チェックを行います。

➡チェック結果

まとめ	
医薬品重複	
同一成分	
薬剤(A)	ノイエルカプセル 200mg
重複結果	同一成分 薬剤(B) ノイエル細粒 40%
相互作用	Aの成分(セトラキサート)とBの成分(セトラキサート)は同一成分(セトラキサート)→
コメント	重複投与

➡アレルギー（飲食物・薬品添加物アレルギー）

➡チェック内容

患者様のアレルギーの有無にかかわらず、飲食物や薬品添加物によるアレルギーの可能性がある医薬品が処方された場合にチェックを行います。

➡チェック結果

まとめ	
アレルギー	
投与禁忌	
薬剤	ミルマグ錠 350mg
レベル	投与禁忌
注意	牛乳に対しアレルギーのある患者→投与禁忌
コメント	
作用機序	※本剤は添加物としてカゼインを含有する。
コメント	

➡投与年齢

➡チェック内容

小児(低出生体重児、新生児、乳児、幼児含む)や高齢者など年齢・性別によって特有注意情報がある医薬品が、患者に処方された場合にチェックを行います。年齢・体重・性別といった患者情報をもとにチェックします。投与量（処方量）のチェックは行わないため、別途投与量チェック（オプション機能）で行います。

➡チェック結果

まとめ	
投与年齢	
原則投与禁忌	
薬剤	アスピリン「ケンエー」
レベル	原則投与禁忌
注意	15歳未満の水痘、インフルエンザの小児患者→原則投与しないことが望ましい
コメント	(ただし、やむを得ず投与する場合には慎重投与)
作用機序	※サリチル酸系薬剤の使用実態は我が国と異なるものの、米国においてサリチル酸系薬剤とライ症候群との関連性を示す疫学調査報告がある〔（参考）ライ症候群：小児において極めてまれに水痘、インフルエンザ等のウイルス性疾患の先行後、激しい嘔吐、意識障害、痙攣（急性脳浮腫）と肝臓ほか臓臓の脂肪沈着、ミトコンドリア変形、AST（GOT）・ALT（GPT）・LDH・CK（CPK）の急激な上昇、高アンモニア血症、低プロトロンビン血症、低血糖等の症状が短期間に発現する高死亡率の病態である。〕。；（参考）本剤投与中の15歳未満の川崎病の患者が水痘、インフルエンザを発症した場合には、投与を中断することを原則とするが、やむを得ず投与を継続する場合には、慎重に投与し、投与後の患者の状態を十分に観察すること。

➡病態-医薬品投与（オプション機能）

➡チェック内容

患者病態（現疾患）に対して、禁忌の医薬品が処方された場合にチェックを行います。

➡チェック結果

＜ 用	
相互作用（理化学変化）	
病態	
アレルギー	
妊産婦・授乳婦投与	
禁忌	
薬剤	イトリゾールカプセル50 50mg
レベル	禁忌 病名 <<現疾患>>B型肝炎
注意	重篤な肝疾患の現症、既往歴のある患者→投与禁忌
コメント	
作用機序	※不可逆的な肝障害に陥るおそれがある。

④妊産婦／授乳婦投与（オプション機能）

④チェック内容

妊産婦・授乳婦・妊娠する可能性がある女性、あるいは生殖可能な男性など、患者に注意が必要な医薬品が処方された場合にチェックを行います。また、妊婦の場合は、アメリカFDA分類基準・オーストラリアADEC分類基準による胎児危険度分類を参考情報として表示します。

④チェック結果

まとめ	薬品アレルギー	妊産婦・授乳婦投与
投与禁忌, 原則投与禁忌		
薬剤	バファリン配合錠A81 81mg	
レベル	投与禁忌	対象 妊産婦
注意	出産予定日12週以内の妊婦→投与禁忌	
コメント	※妊婦期間の延長、動脈管の早期閉鎖、子宮収縮の抑制、分娩時出血の増加につながるおそれがある。海外での大規模な疫学調査では、妊娠中のアスピリン服用と先天異常児出生の因果関係は否定的であるが、長期連用した場合は、母体の貧血、産前産後の出血、分娩時間の延長、難産、死産、新生児の体重減少・死亡などの危険が高くなるおそれを否定できないとの報告がある。また、ヒトで妊娠末期に投与された患者及びその新生児に出血異常があらわれたとの報告がある。さらに、妊娠末期のラットに投与した実験で、弱い胎児の動脈管収縮が報告されている。	
薬剤	バファリン配合錠A81 81mg	
レベル	原則投与禁忌	対象 授乳婦
注意	授乳婦→授乳を避けさせる	
コメント	※母乳中へ移行することが報告されている。	

④投与量（オプション機能）

④チェック内容

患者年齢・性別・体重・身長等情報に基づき、処方された医薬品投与量や1日の使用回数のチェックを行います。

④チェック結果

まとめ	投与量
最小値, 最大値	
薬剤	コデインリン酸塩錠1%
基準値	最大値
コメント	[投与量チェック結果]
	一日量が最大値を超えています。(力価投与量:90.0mg)
許容限界値:60.0mg 計算式:60(常用最大)	

②薬品アレルギー（オプション機能）

②チェック内容

薬・既往等に登録された副作用薬に対して成分また系統が同一である医薬品が処方された場合アレルギーチェックを行います。同一成分(塩・水和物違い等同一成分を含む)、プロドラッグ(同一代謝活性体成分)、類似成分(ビタミン類、鏡像異性体など)などの系統チェックを行います。

②チェック結果

まとめ	
薬品アレルギー	
同一成分, 系統	
薬剤(A)	アムロジシン錠2.5mg
重複結果	同一成分
副作用薬	ユニシア配合錠LD
副作用	
症状	
コメント	Aの成分は薬・既往等で登録されている副作用薬と同一成分（アムロジピン）です。
薬剤(A)	アムロジシン錠2.5mg
重複結果	系統
副作用薬	ユニシア配合錠LD
副作用	
症状	
コメント	Aの成分は薬・既往等で登録されている副作用薬と同一系統（カルシウム拮抗剤）です。
薬剤(A)	アムロジシン錠2.5mg
重複結果	系統
副作用薬	ユニシア配合錠LD
副作用	
症状	
コメント	Aの成分は薬・既往等で登録されている副作用薬と同一系統（ジヒドロピリジン系化合物）です。

②投与日数制限（オプション機能）

②チェック内容

処方薬投与日数が投与期間の制限を超えた場合にチェックを行います。

②チェック結果

<	薬品アレルギー	アレルギー	妊産婦・授乳婦投与	投与量	投与日数	>
薬剤	「エスタゾラム錠 1mg」「アメル」					
コメント	投与日数35日は投与期間の制限日数30日を超えています					

ワンポイント

新薬の投与日数制限（処方チェックオプション機能）はマスタの追加・変更に3ヵ月ほどかかるため、以下の現象が発生する可能性があります。

- ・新薬期間中に処方チェックがかからない
- ・新薬終了後も長期投与チェック対象外にかかわらずチェックがかかる

以上